

※〔 〕内は、令和4年度同時期の実績。

令和5年度 こども家庭課 主たる事業(実績)

①保育所の整備等

・児童や園児の生命を守ることを目的に、津波浸水想定区域内に立地している志摩幼保園を志摩町布施田地区の高台へ移転するため、園舎の建築および前面道路の拡幅工事を行いました。新築移転を行った志摩幼保園は、志摩市立志摩こども園として令和6年4月1日開園を予定しています。

・既存保育所の整備として、立神保育所について施設全体が古く老朽化が著しいことから、長寿命化工事として保育環境を整えるため、実施設計業務を行いました。

②保育所（園）、認定こども園

・引き続き、保護者の希望に添えるように保育所等入所（園）の利用調整を行うとともに、公立・私立含め市内全ての保育所等で午後7時までの長時間保育を実施しました。

・市内に4施設ある幼保園内にある保育所について、令和6年4月1日から幼保連携型認定こども園としての運営開始に向けて準備を整えました。

③幼稚園

・引き続き、各幼稚園にて事業を実施しました。また、4・5歳児については午後7時までの預かり保育を実施しました。

・市内に4施設ある幼保園内にある幼稚園について、令和6年4月1日から幼保連携型認定こども園としての運営開始に向けて準備を整えました。

④子育て支援センター

・浜島・志摩・磯部子育て支援センターでの事業実施及び子育て支援センターわくわくの森へ補助を行いました。

利用延べ人数	浜島子育て支援センター	461人	〔529人〕
(2月末現在)	志摩子育て支援センター	1,127人	〔836人〕
	磯部子育て支援センター	2,246人	〔1,755人〕
	わくわくの森子育て支援センター	1,848人	〔2,394人〕

⑤放課後児童クラブ

・鵜方・東海・神明・浜島・大王・志摩・磯部放課後児童クラブの7か所で事業を実施し、民営の児童クラブ鵜方小学校前、しまの杜放課後児童クラブへ補助を行いました。

利用延べ人数	大王放課後児童クラブ	173人	〔100人〕
(2月末現在)	志摩放課後児童クラブ	164人	〔171人〕
	鵜方放課後児童クラブ	1,020人	〔835人〕
	神明放課後児童クラブ	233人	〔264人〕
	東海放課後児童クラブ	464人	〔399人〕
	浜島放課後児童クラブ	163人	〔113人〕
	磯部放課後児童クラブ	593人	〔489人〕

児童クラブ鶴方小学校前	456人〔404人〕
しまの杜放課後児童クラブ	450人〔282人〕

⑥各種相談業務

・引き続き、児童家庭相談援助、発達障がい児支援、母子・父子・寡婦自立支援、女性相談（婦人保護）に関する相談業務を行いました。

(1)相談受付件数（12月末現在、延べ件数）

児童家庭相談援助	169件〔76件〕
母子・父子・寡婦自立支援	36件〔22件〕
女性相談（婦人保護）	121件〔29件〕

(2)発達障がい児支援対応件数（12月末現在、延べ件数）

在籍機関支援	754件〔698件〕
保護者等支援	331件〔339件〕

⑦児童手当・児童扶養手当

(1)児童手当受給者

（定時支払：6月：1,847名、10月：1,838名、2月：1,852名）
〔6月：2,006名、10月：1,983名、2月：1,994名〕

(2)児童扶養手当受給者

（定時支払：5月：320名、7月：319名、9月：321名、11月：323名、
1月：319名、3月323名）に手当を支給しました。

〔5月：380名、7月：340名、9月：342名、11月：339名、1月：332名、3月：339名〕

また、転出者等には児童手当及び児童扶養手当の随時支払いをしました。

⑧出産祝い金制度

・令和5年4月1日から支給対象を拡大し、第1子から一律20万円の出産祝い金を支給しました。

支給実績	第1子	44人
(2月末現在)	第2子	36人〔59人〕
	第3子以降	28人〔26人〕
	合計	108人〔85人〕

⑨ファミリー・サポート・センター

・令和5年度から初めてファミリー・サポート・センターを利用する方に無料で4時間利用してもらえる無料お試しチケットの交付とひとり親などがファミリー・サポート・センターを利用する場合に、半額を助成する利用料助成事業制度を新設しました。

延べ利用実績	利用料助成	11人	65,770円
(2月末時点)	お試し無料	9人	22,050円

⑩病児保育事業

・よいこ病児保育室に運営を委託し、引き続き事業を実施しました。

延べ利用実績	133人〔84人〕
(2月末時点)	

⑪子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分・ひとり親世帯分）

国の事業として、非課税の子育て世帯（その他世帯分）および児童扶養手当

受給対象世帯（ひとり親世帯）へ対象児童一人あたり 5 万円の給付金の支給を行いました。

⑫三重県子育て世帯生活応援給付金（当初分・追加対策分）

県の事業として、当初分については令和 5 年 4 月分の児童扶養手当の受給対象世帯へ、追加対策分については令和 5 年 11 月分の児童扶養手当の受給世帯へ、それぞれ対象児童一人あたり 2 万円の給付金の支給を行いました。

①物価高騰生活支援給付金（こども加算分）

国の事業として、非課税世帯および住民税均等割のみ課税世帯について、世帯内の対象児童一人あたり 5 万円の給付金の支給を行いました。

令和5年度 健康推進課 主たる事業(実績見込)

①母子保健事業

志摩市母子保健計画に基づき、子どもの健やかな成長や保護者の育児を支援するため、引き続き母子保健事業を実施しました。

1 妊婦健康診査

妊娠の届出の窓口を子育て世代包括支援センターで対応し、保健師・看護師が面接してセルフプランを作成し、必要に応じて妊娠期から訪問や電話相談等の支援を行いました。

また、14 回分の健康診査費用を助成し、里帰り等による県外在住妊婦についても償還払いによる県外助成を行いました。多胎妊婦については、受診券の追加交付を行いました。

●母子保健のしおり交付（令和 6 年 1 月末までの実績）：

母子手帳交付時の交付 123 人〔145 人（多胎 1 件）〕
転入妊婦 11 人〔3 人〕

2 家庭訪問

生後 1～2 か月の乳児がいる家庭へ、保健師、訪問員が全戸訪問を行いました。育児相談や育児環境等を確認して保健指導を行い、「エジンバラ産後うつ質問票（EPDS）」を用いて産後うつの状況を確認しました。産後うつなどのメンタル不調や育児不安については、保健師が継続訪問等で対応し、必要に応じて医療機関との連携や産後ケア事業の利用などの支援を行いました。

●赤ちゃん訪問（令和 6 年 1 月末までの実績）：110 人

（保健師訪問：106 人・訪問員訪問：4 人）
〔175 人（保健師訪問：165 人・訪問員訪問：10 人）〕

3 思春期保健事業

昨年度から開始した生活習慣病予防について学ぶ「思春期健康づくり講座」と、以前から継続して実施している「性感染症予防講座」を実施しました。また、新たな取り組みとして、市内の高校に出向いて性教育講座を実施し

ました。高校生向け性教育講座は、養護教諭やフリーランスで活動している思春期保健相談士と協働で企画し、保健師は女子生徒を対象にした講座を担当しました。

●思春期出前講座（令和5年度実績）

思春期健康づくり講座：2校 2回 56人参加（中学2年生）〔3回 61人〕

性感染症予防講座：6校 12回 307人参加（中学3年生）〔12回 310人〕

高校生向け性教育講座：1校 1回（男女別） 136人参加（全学年）

令和5年度 教育総務課 主たる事業(実績)

1. 施設整備

学校の環境改善のため、以下の施設整備を行いました。

- ・旧越賀小学校校舎（体育館は、令和6年度解体予定）
（志摩支所がコミュニティセンター建設と一体で施工）

令和5年度 志摩市学校給食センター 主たる事業(実績)

1. 学校給食における食育について

(1)「しまらぶ給食」及び生産者交流会の実施

「志摩給食」と「記憶に残る給食」を統合した「しまらぶ給食」として、毎月1回、志摩の特産品を使った献立を提供し、このうち2回の献立を、市内にあるホテルの料理長に監修していただきました。

また、特産品の生産や加工を行っている事業者のみなさんや、献立を監修していただく料理長を学校へお招きし、特産品の生産方法や特色、献立の作成、仕事に対する思いなどのお話を聞かせていただく生産者交流会を7回実施しました。

○生産者交流会日程

日 程	献 立	主な地物産物と 交流会実施予定校
6月14日	麦ごはん 牛乳 かつおフライ ポイルキャベツ みそ汁 ソース	かつお 神明小
7月 7日	そばろごはん 牛乳 七夕汁 七夕ゼリー	オクラ・大王小
10月17日	麦ごはん 牛乳 鶏肉のカレー揚げ ゆで野菜 めひび汁	めひび・鶉方小
11月29日	麦ごはん 牛乳 豚肉のチャンプルー かつお削り節五目汁	かつお節・浜島小
12月12日	麦ごはん 牛乳 伊勢海老コロッケ みそ汁	伊勢えび 船越みそ・東海小

	伊勢海老ポテトサラダ黄身焼き 志摩産さつま芋の米粉パウンドケーキ	さつまいも
1月16日	麦ごはん 牛乳 安乗産サバフグマヨネーズ焼き ひじきの温かいサラダ 野菜クリームスープ	サバフグ・磯部小 アオサ
2月14日	そばろごはん 牛乳 五日卵スープ 南張メロン	メロン・志摩小

(2) 「サミット給食」の実施

我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めることを目的として6月16日～18日に、伊勢志摩地方で開催されたG7 三重・伊勢志摩交通大臣会合にちなんで、参加する国の料理を給食風アレンジし提供しました。

日程	国名	献立
5月11日	フランス	鶏肉のプロヴァンス風、ポトフ
5月25日	アメリカ	バーガーパン、フライドチキン、ボイルキャベツ コーンチャウダー
6月8日	イタリア	ペンネのミートソース
6月22日	イギリス	フィッシュアンドチップス、スコッチブロス
7月6日	カナダ	サーモンのハーブ焼き
7月13日	ドイツ	シュニッツェル、カルトッフェルスuppe

(3) 「おさかなレシピ」の配布

家庭でも海産物料理を積極的に取り入れてもらうきっかけになるよう、学校給食で提供している海産物の献立をレシピにして、各家庭に配布しました。

(4) 「SNS」での配信

学校給食の献立と、画像を志摩市学校給食センターの公式SNSで配信しました。

2. 学校給食における食物アレルギー等への対応について

○令和5年度 給食での対応が必要な児童生徒数

(令和6年2月での除去食依頼書提出者数)

学校種別	学校数	児童生徒数	除去食依頼書提出		児童生徒数の割合
			学校数	児童生徒数	
小学校	7	1,608	7	64	3.97%
中学校	6	936	5	20	2.13%

合計	13	2,544	12	84	3.30%
	アレルギー等原因食物 (除去する食物)				
	卵	乳	魚・甲殻類	果物	ナッツ類、そば 小麦、野菜他
合計 (人)	5	7	22	25	37

3. 学校給食費の無償化

市内全小中学校の児童生徒の無償化を実施します。

※対象児童生徒数2,544人(小学校1,608人、中学校936人)

令和5年度 学校教育課 主たる事業(実績)

1. 次代の親の育成について

(1) キャリア教育の推進

○自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象として、学校、家庭及び地域社会が協力し、各事業所における「職場体験学習」を実施しました。

○児童生徒一人一人が、より豊かな職業観・勤労観や主体的に進路を選択する能力を身につけ、将来、自立した社会人として、人生設計し、「生きる力」を育てるための取組を行いました。

(2) 中学生海外派遣事業の実施

○中学生をパラオに派遣し、現地学校とお互いの文化を紹介したり、体験したりするなどの交流を行ったほか、日本大使館表敬訪問、自然体験学習、平和学習等により、相互理解を深め、国際感覚の養成につなげることができました。また、報告会や各中学校での発表で派遣の成果を環流することができました。

2. 学校教育環境の整備について

(1) 授業研究指定校事業の実施

○学習指導要領の趣旨に則った「学び」を実現するために、教職員一人一人が、質の高い教育を実現できるよう、授業力向上の視点に立った授業研究の取組(2箇年事業)を行った。指定校2校(2年目)では、公開研究会を開催し、市内外の教職員に成果を広め、研究を深めることができました。

▷指定校：磯部小学校・志摩中学校(2年目)

▷指定校：鵜方小学校・東海中学校(1年目)

(2) 学校ICT環境の整備及び運営

○各小中学校のネットワーク環境の安定稼働を維持するよう努めました。

○タブレット端末を家庭学習においても活用するに当たり、ネットワーク環境未整備の家庭に対しモバイル通信機器の貸出を行い、令和6年1月31日現在の延べ貸出件数が149件となっています。

○ICT環境の安定稼働とICTを活用した教育の進展を図るため、教育情報システ

ムサーバの更改を行い、3月に本稼働できるよう進めています。

(3) 学校防災学習事業の実施

○教職員を対象とした防災教育研修会を実施するとともに、指定校はじめ各小中学校での防災教育の充実を図りました。

▷指定校：磯部小学校・磯部中学校・東海小学校・東海中学校

○南海トラフ地震や様々な災害に対応する力を身につけるため防災袋づくり授業等の経費に対する補助を行いました。

(4) 地域と学校の連携・協働体制構築事業（子ども未来教室）の実施

○子どもの学びを保障するため、次の校区で子ども未来教室を継続実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図りました。

▷志摩小学校区：しま子ども未来教室（1月31日現在：延べ343人）

▷大王小中学校区：大王子ども未来教室（1月31日現在：延べ285人）

▷浜島小学校区：はまじま子ども未来教室（1月31日現在：延べ82人）

▷神明小学校区：しんめい子ども未来教室（1月31日現在：延べ7人）

○引き続き他校区での新規実施について、検討・調整を進めます。

3 生涯学習の推進について

(1) 学校プール開放事業の実施

児童の生涯学習意欲の高揚と健康増進を図ることを目的として夏季休業期間中に鵜方小学校及び東海小学校のプールを開放し、自由水泳及び着衣水泳を行いました。自由水泳は延べ1,337人（鵜方小学校プール723人、東海小学校プール614人）、着衣水泳は64人（鵜方小学校プール31人、東海小学校プール33人）の参加がありました。

令和5年度 総合教育センター 主たる事業(実績)

1、教育相談

○子どもの教育のこと、学校のこと、友達のことなどについて相談ができる場として教育相談総合窓口を設置し、教育相談員による相談業務や臨床心理士によるカウンセリングを実施しました。

○令和4年度に引き続き、臨床心理士によるカウンセリングを週2日実施しました。

(令和6年1月末までの実施状況)

- | | |
|-------------------|------------|
| ・教育相談件数 | 215件〔155件〕 |
| ・臨床心理士カウンセリング実施件数 | 191件〔223件〕 |

2 教職員研修

○教職員のスキルアップを目指し、授業力向上・子ども理解などの研修を実施しました。

○研修をとおして、子どもたちが学ぶ喜びやわかる楽しさを実感することができるような授業の提供を目指しました。

(令和6年1月末までの実施状況)

- ・研修実施回数 32回〔31回〕
- ・研修参加人数 のべ 740人〔560人〕

3 教育にかかる調査・研究

- ICTの効果的な活用方法について研究を行いました。
- プログラミング学習や教師のICT指導力向上について、学校の取組のサポート・状況確認を行いました。

(令和6年1月末までの実施状況)

- ・研修員による学校訪問回数 18回〔89回〕
- ・プログラミング学習出前授業時間数 20時間〔29時間〕
- ・情報教育支援員による学校訪問回数 1学期 181回〔123回〕
2学期 191回〔108回〕

4 資料収集・管理

- 学校の日々の授業実践に活かすことができるような資料の収集・管理を行いました。

(令和6年1月末までの実施状況)

- ・収集冊数 8冊〔26冊〕

令和5年度 生涯学習スポーツ課 主たる事業(実績)

① 放課後子ども教室

- ・磯部町で旧町時代から行ってきた「ドンカラ放課後子ども教室」をベースとした教室を磯部小学校の児童を対象に実施しました。令和5年度は、プログラミング教室（1回、5人参加）、和太鼓教室（3回、延べ63人参加）、バドミントン教室（1回、16人参加）、工作教室（2回、延べ92人参加）を開催しました。

① 青少年育成事業

- ・志摩市青少年育成市民会議に業務委託し、志摩自然学校と連携のもと、市内中学2年生を対象とした「ジュニアリーダー研修会」を8月24日（木）に、ともやま公園、志摩自然学校、次郎六郎海水浴場、間崎島を会場として開催しました。（15人参加）〔14人〕
- ・三重県環境保全事業団と共催し、小学生を対象として「標本作り教室」を7月25日（火）に、磯部生涯学習センターにて開催しました。（45人参加）〔36人〕
- ・大王地区事業として、書道教室「サンサンキッズ大王」を開催しました。
- ・志摩地区事業として、書道教室「たちご書道教室」を開催しました。

② ブックスタート事業

- ・ 絵本の読み聞かせを通じて親子のふれあいを深めてもらうことを目的に、7か月児健康相談時に100人（1月末現在）へ絵本を贈りました。〔122人〕

④ 青少年育成市民会議

- ・ 浜島、大王、志摩、阿児、磯部の各支部単位の活動を通して、青少年の自主性や社会性を育み、自然・生活体験、異年齢交流といった場を積極的に設け、健全育成活動を実施しました。

⑤ 青少年補導センター

- ・ 問題青少年及び青少年非行集団の早期発見活動として、各地区での街頭・巡回補導及び地域行事等の開催時に必要に応じて合同補導を行いました。また、早期補導活動に向け全体会議を開催しました。

⑥ 青色防犯パトロールの実施

- ・ 生涯学習スポーツ課の公用車を青色防犯パトロールの使用車両として登録し、自主防災パトロールを小学校の下校時間帯を中心に実施しました。

⑦ 新型コロナウイルスへの対応

- ・ 令和5年5月8日より、感染症法の分類において5類に位置付けられたことからイベント開催時の対策を緩和しつつ、インフルエンザ等他の感染症も含め、感染対策に努めながら対応しました。